

バーコードプリンター

SA-200CIV

取扱説明書



目 次

はじめに	2
安全にご使用いただくために	3
各部の名称と説明	7
プリンター全体図	7
操作パネル部	8
電源パネル部と通信パネル部	9
原紙掛けの取付方法	10
リボンのセット方法	11
用紙のセット方法	14
カッター機について	18
エラーコード表	19
スタッカー機について（オプション）	20
スタッカー機の接続	20
スタッカー機の使用方法	21
印字ヘッドの掃除について	22
故障について	24
基本仕様	25

はじめに

このたびは、S A-200CⅣをお買い上げいただき、ありがとうございます。
本機は、熱転写方式のプリンターでPOSシステムのキーポイントとなるバーコード値札を発行する装置です。

特長

□高速印字・高印字品質の実現

最大 200mm/秒の印字スピードで高印字品質を可能にしました。

□熱転写印字方式

サーマルリボンによる熱転写方式を採用しており、安定した印字品質を保つことができます。

□優れた操作性

用紙を自動的に給紙するオートローディング機構を採用、さらに印字部のサイドスロー機構でサーマルリボンのセットが容易になり、操作性がアップしました。

□バックフィード機構の搭載

カッター機で用紙をカットしながら発行する際、自動的に用紙をセットポジションに移動するバックフィード機能搭載し、用紙のロスを無くします。

お願い

この取扱説明書には機械各部の操作方法をはじめ、使用上の注意事項や簡単なトラブル処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させ、効果的に活用していただくため、ご使用前に必ずお読み下さい。

不明点があればいつでも閲読できるよう、取扱説明書は大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい注意事項を示しています。

◆表示の意味



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される原因を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人がけがをしたり周囲に物的な損害をあたえたりする可能性が想定される原因を示しています。

◆記号の例



△で示した記号は、警告や注意を促す内容を示しています。記号の中や近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘で示した記号は、してはいけない禁止事項を示しています。記号の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



●で示した記号は、必ず指示に従っていただきたい強制事項を示しています。記号の中や近くに具体的な指示内容を示しています。

警告



禁 止

表示されている電源電圧以外では使用しないでください。

火災・感電の恐れがあります。



指 示

電源コードは本機の付属品を使用してください。

付属品以外の電源コードを使用すると、発火や火災の恐れがあります。



アース

アース接続は必ず行ってください。

漏電すると火災・感電の原因となります。またガス管、電話専用アース、水道管には絶対取付けないでください。



禁 止

延長コードを使用したり多配線で使用しないでください。

電源の容量を超えると火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードの上に重い物を乗せたり、無理に曲げたり、傷つけたり、加工したりしないでください。

そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



指 示

電源プラグをコンセントから抜くときは必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると芯線が露出したり断線し、火災・感電の原因となります。



抜 く

万一、煙が出たり焦げた臭いがしたときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて連絡先へ連絡してください。

そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



禁 止

本機の開口部から内部に金属の異物を差し込まないでください。

配線がショートし故障・感電・火災の原因となります。



抜 く

異物(金属類・液体)が本機の内部に入った場合は、本機の電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた後、連絡先へご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

警告



分 解

本機のカバーを取り外したり分解しないでください。
火災・感電の原因になります。点検や修理は連絡先へご連絡ください。



本機を水のかかる場所で使用しないでください。
また、濡れたラベルやサーマルリボンを使用しないでください。
故障・火災・感電の原因となります。



禁 止

本機に強い衝撃を与えたり激しい振動を与えないでください。
本機が落下してけがの原因となります。また本機が破損し火災・感電の恐れがあります。

注意



指 示

本機に電源コードを接続する場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前
に行ってください。
ショートや故障の原因となることがあります。



指 示

本機の電源ON/OFFは必ず本機の電源スイッチで行ってください。
本機の電源スイッチがONの状態で、タップによる電源ON/OFFは故障の原因と
なります。



指 示

本機に接続する通信ケーブルは電源がOFFの状態で接続してください。
電源がONの状態で接続するとショートや感電の原因となることがあります。



抜 く

オプションユニットの取付けや取外しは、本機および本機に接続されてい
る装置の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
故障・感電の原因となります。



禁 止

湿気やほこり、通気性の悪い場所には設置しないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

お願い



指 示

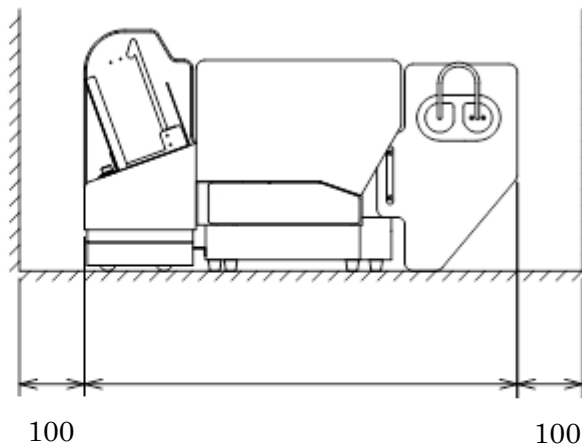
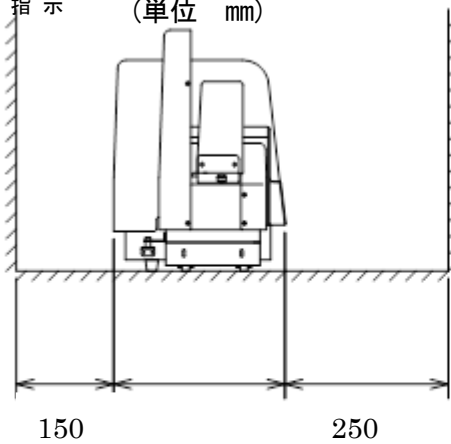
キーは軽く押すだけで操作できますので強く押さないでください。



指 示

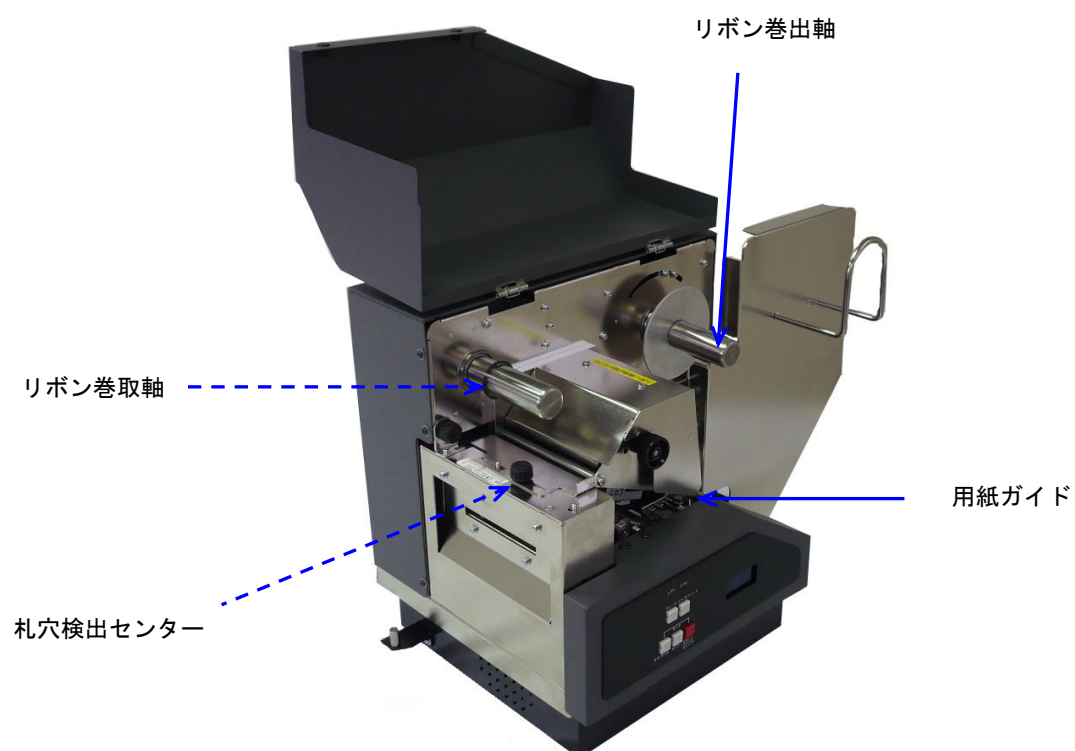
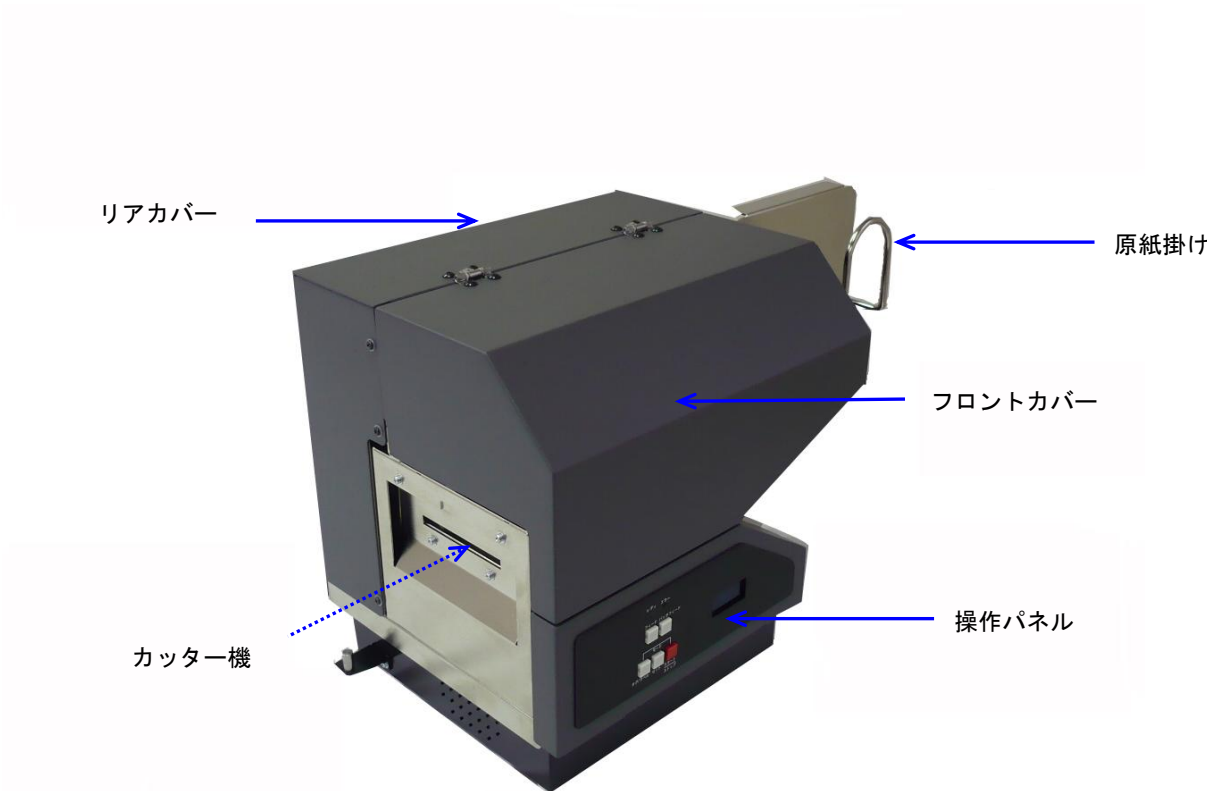
消耗品の交換や点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

(単位 mm)

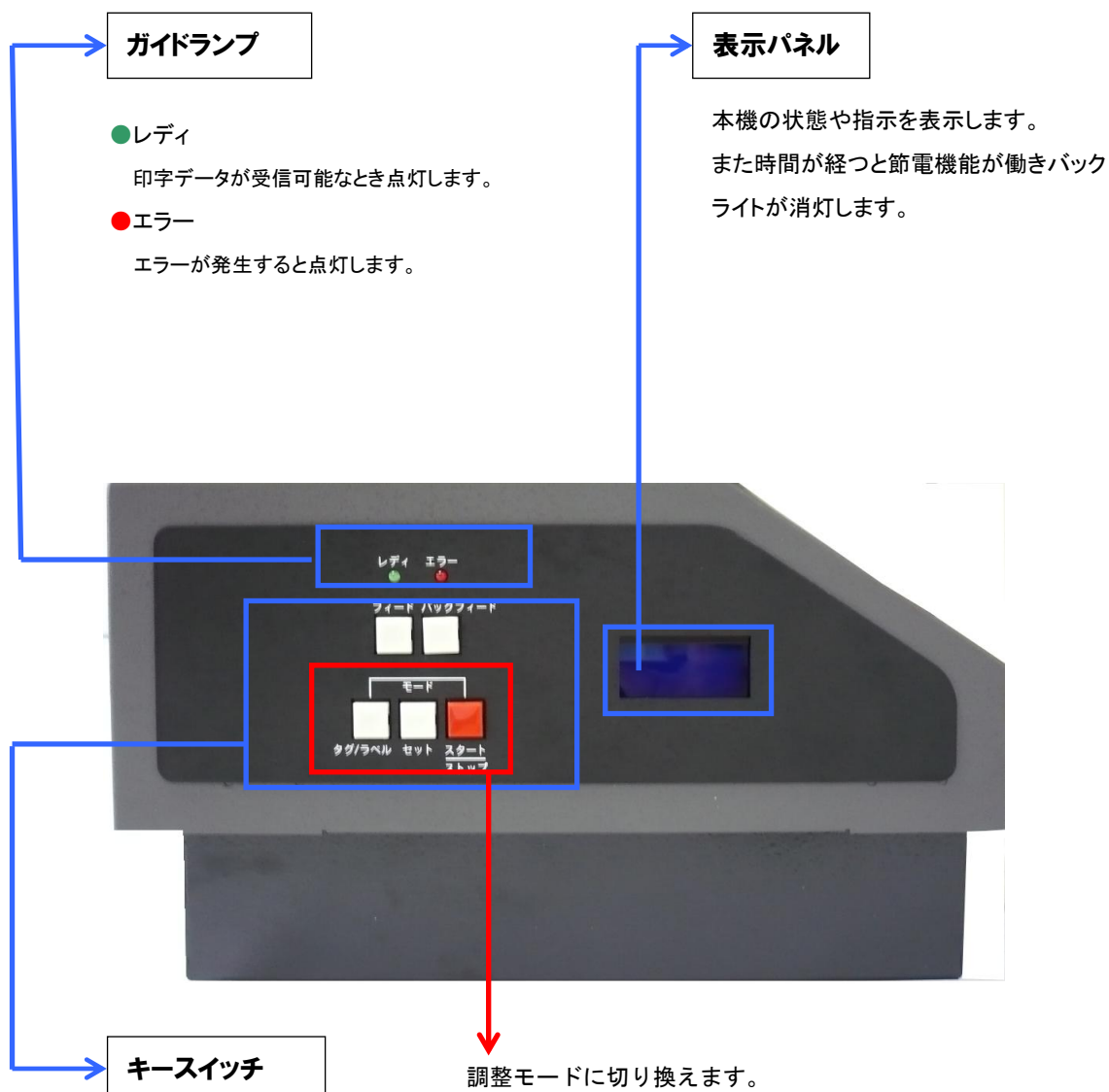


各部の名称と説明

プリンター全体図



操作パネル部



タグ/ラベル

タグ・ラベルの切り換えを行います。

フィード

キーを押している間、用紙を巻き取ります。

バックフィード

キーを押下している間、用紙をバックします。
用紙交換を行う場合、このキーで用紙をバックさせてください。

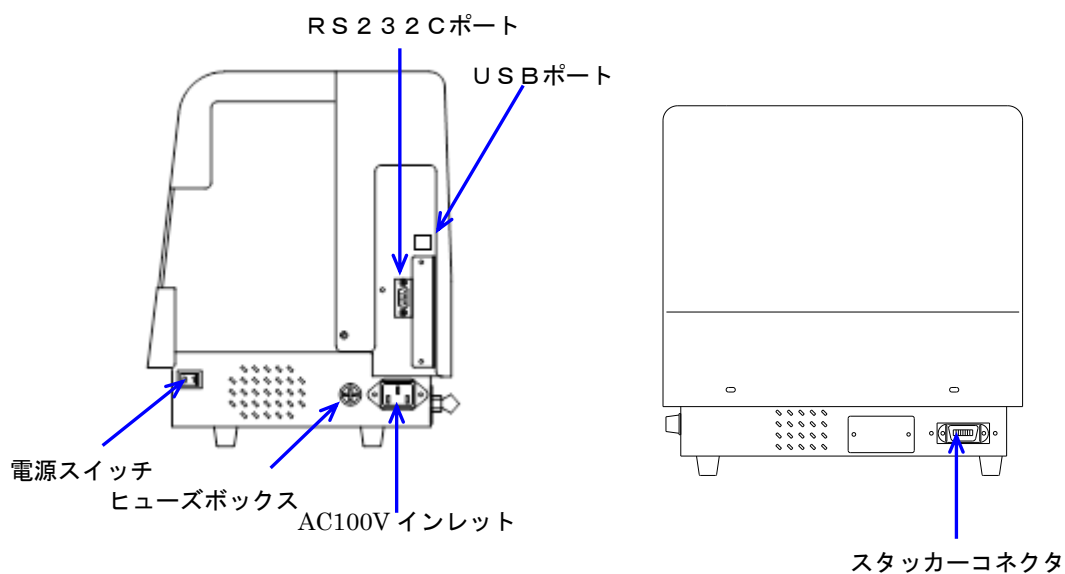
セット

用紙のセット動作(位置合せ)を行います。

スタート
ストップ

印字を開始する、またはエラー解除を行います。

電源パネル部と通信パネル部



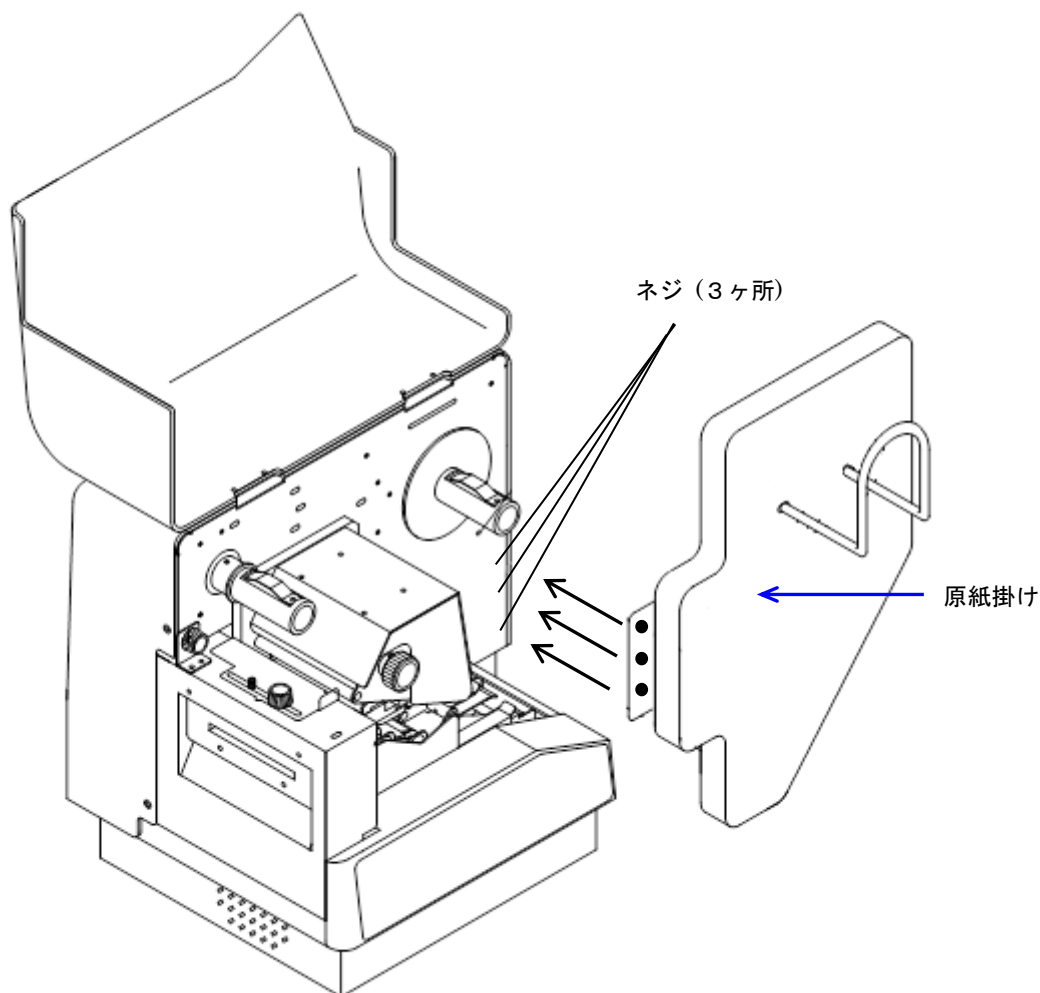
- ・電源スイッチ : 右側押下(O)で”ON”、左側押下(I)で”OFF”になります。
- ・ヒューズボックス : ヒューズが入っています。(250V・4.0A)
- ・AC100V インレット : 付属の電源コードを差し込みます。
- ・RS232Cポート : RS232Cケーブルを差し込みます。
- ・USBポート : USBケーブルを差し込みます。
- ・スタッカーコネクタ : スタッカー接続用のコネクタです。スタッカーからのケーブルを接続します。

注意

ヒューズは必ず所定の定格(250V 4.0A)のものをお使いください。
定格以外のヒューズを使用すると事故の原因となる恐れがあります。

原紙掛けの取付方法

ドライバー（＋）で下図のネジ（3ヶ所）を外し、外したネジで原紙掛けを取り付けてください。



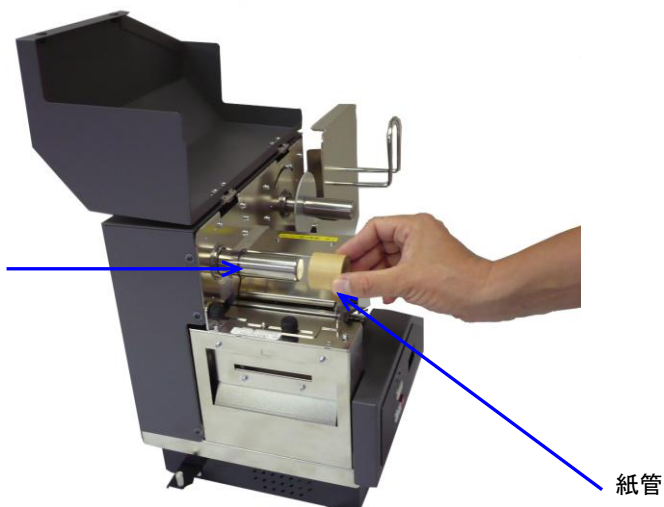
リボンのセット方法

1

下記の①から③の手順でリボン巻取軸に紙管を奥まで差し込んでください。

①

リボン巻取軸



紙管

②



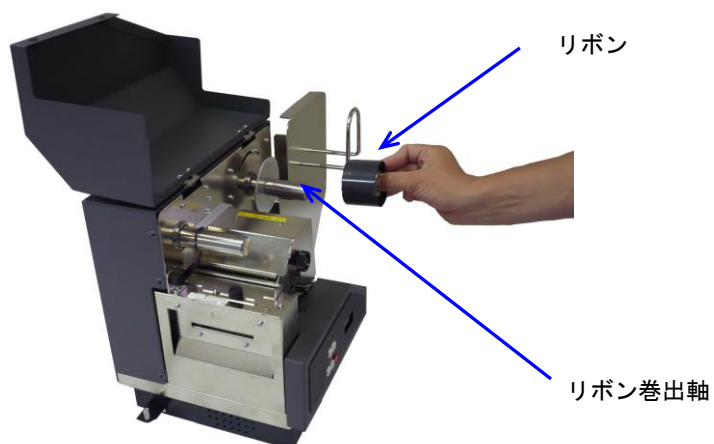
③



2

下記の①から③の手順でリボン巻出軸にリボンを奥までセットしてください。

①



②

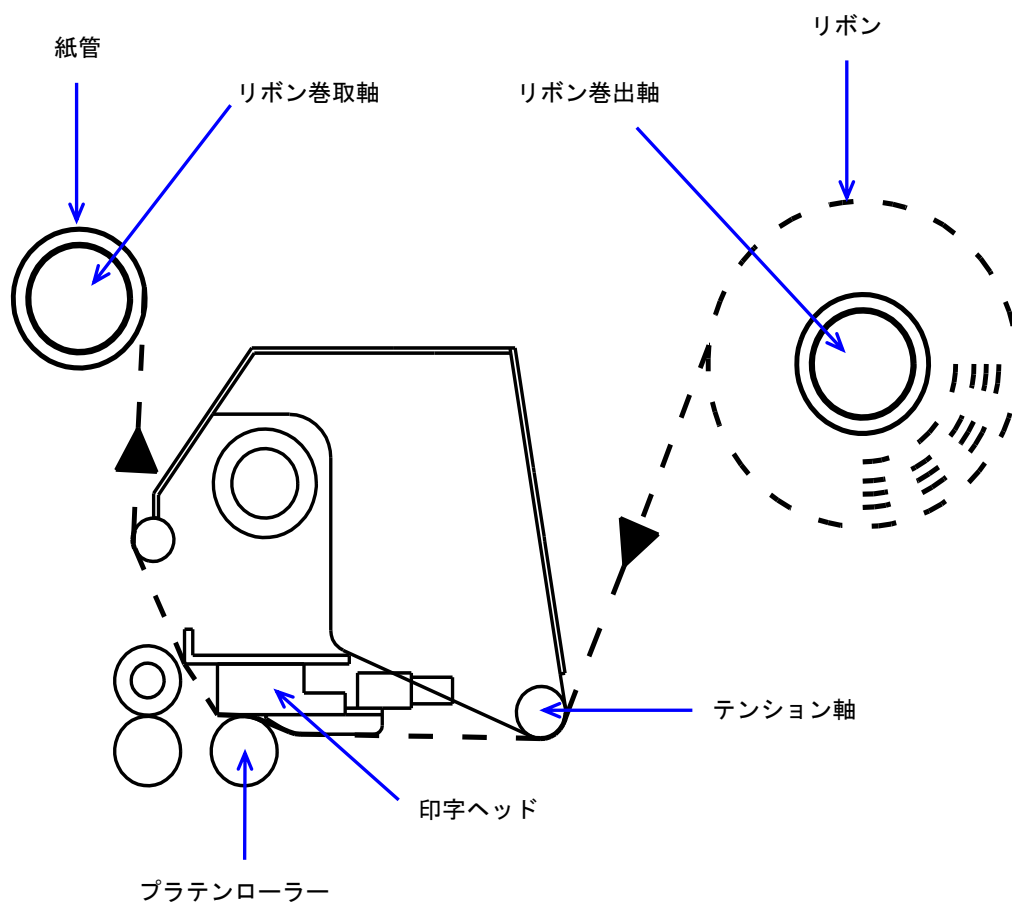


③



3

リボン先頭のリードテープ（透明）をテンション軸→印字ヘッド下側の順に通し、リードテープのシール面をリボン巻取軸の紙管に貼り付けてください。



お願い

□リボン検出センサーにリボンが確実に通るようにセットしてください。

□リボン経路は上図の通り正しくセットしてください。

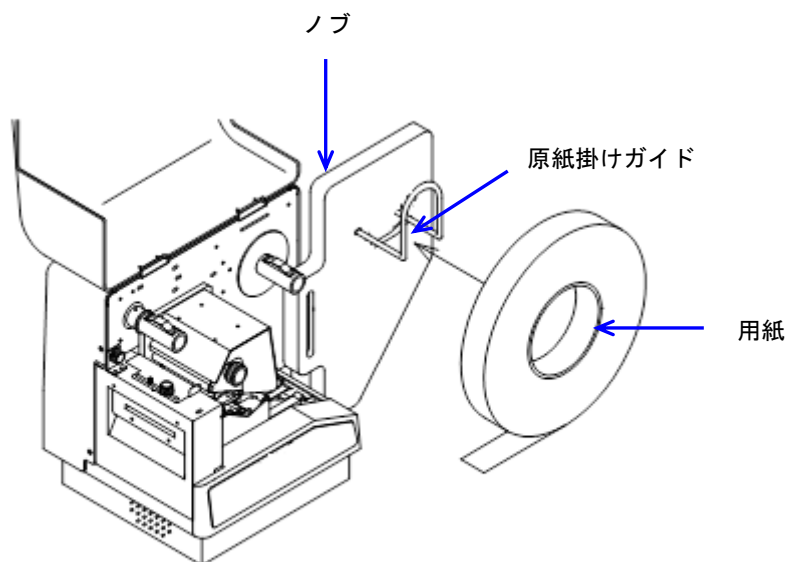
間違ったセットを行うと印字がでず、印字ヘッドの破壊の原因になります。

□テンション軸は時々、無水エタノールで掃除してください。ローラが汚れると用紙送り、リボン送り不良が発生し印字品質が低下します。

用紙のセット方法

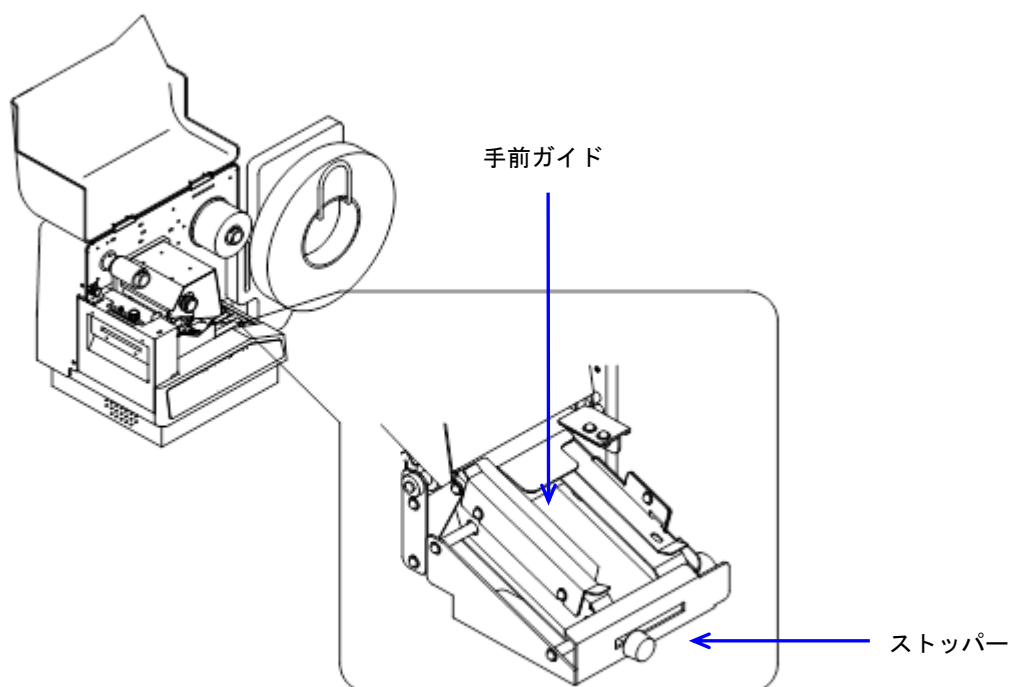
1

用紙の出る向きに注意して用紙を原紙掛けにセットしてください。
原紙掛けガイドを用紙に合わせて調整し、原紙掛け裏側のノブを締めて下さい。



2

ストッパーを緩め、手前ガイドを用紙幅に合わせて固定してください。



3

札穴センサー位置調整

【幅方向】

- (1) 札穴をセットした際に画像の様にセンサーマークと札穴が一直線になる様に調整してください。



- (2) 下記のツマミでセンサーの位置を調整してください。



札センサー用ツマミ

札ガイド用ツマミ

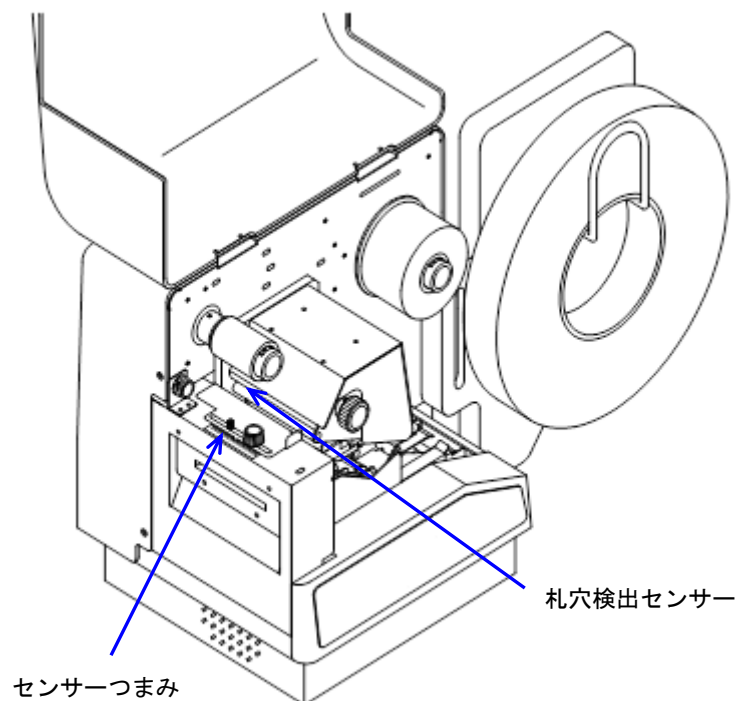
- (3) 10号・11号ともにマークのY方向長さが同じになるようにX方向に位置調整し、矢印に合わせてセンサー目盛シールを貼ります。

4

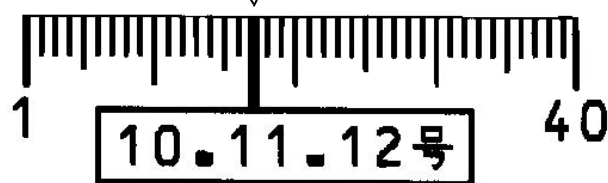
カッター部のセンサーつまみを緩め、カッターセンサー位置を調整してください。

ラベルおよび百貨店標準値札 10 号・11 号・12 号用紙を使用するときは、矢印を下図の位置に合わせてください。

その他のセンターホールタグを使用するときは、用紙幅の 1/2 の数値に矢印を合わせてください。



ラベル、 10 号・11 号・12 号用紙使用時



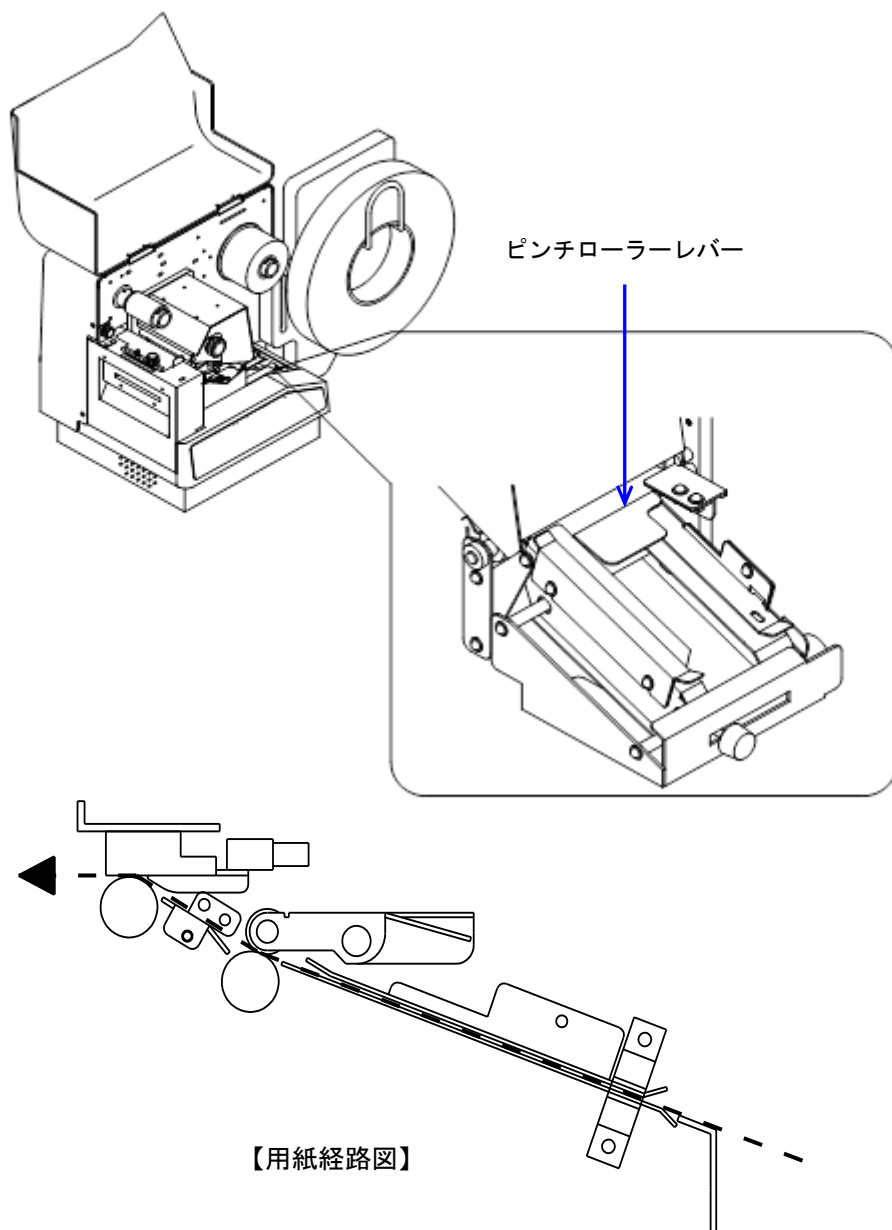
4

ラベルを使用する場合は、ガイドランプの“ラベル”を点灯させて下さい。

(P.8 操作パネル部 参照)

5

用紙ガイドに用紙を差し込むと、オートセットします。自動でセットされない場合は、ピンチローラーレバーを押し下げながら用紙を印字ヘッドの下あたりまで差し込んでから“セット”キーを押下して下さい。



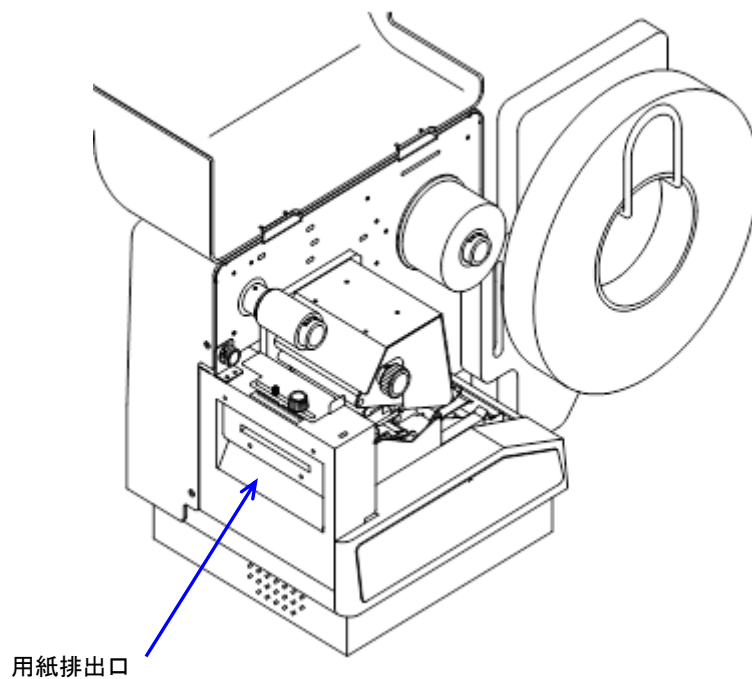
カッター機について

- ・ カット幅 : 3 2 ～ 7 0 mm
- ・ カット長さ : 2 5 ～ 1 2 0 mm



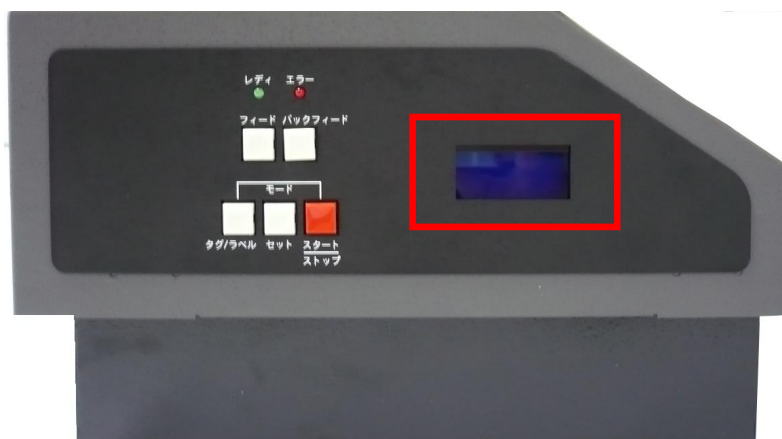
□カッター刃に直接指をふれないでください。けがの原因となります。

□カッター部に用紙が詰まったときは、必ず本機の電源スイッチを”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。けがの原因となります。



エラー表示

エラー発生時、本機が停止するとLEDにエラー内容が表示されます。



内 容	処 理
ヨウシギレエラー	新しい用紙をセットして下さい。
カミヅマリエラー	詰まっている用紙を取り除いて下さい。
リボンギレエラー	新しいリボンをセットして下さい。
カッターイジョウ	電源を OFF にして、詰まった用紙を取り除いて下さい。

上記以外の発生した場合、連絡先へ、お問い合わせください。

お願い

□上記の処置を行っても、エラーメッセージが表示された場合は、一度電源を切り再起動してください。
再度操作を行ってもエラーメッセージが表示される場合は、連絡先へお問合せください。

スタッカー機について（オプション）

- ・スタック枚数 : 最大約500枚
- ・スタック札幅 : 32～70mm
- ・スタック札長さ : 25～120mm

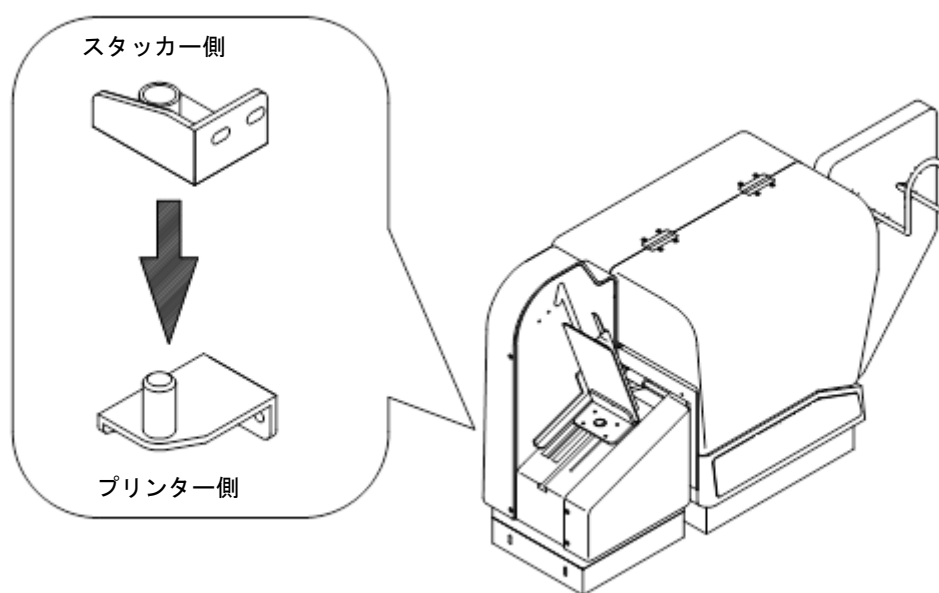
スタッカー機の接続

1

本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

2

スタッカーの取付金具（凹側）を本機の取付金具（凸側）に差し込んでください。



3

スタッカーから出ているケーブルを本機のスタッカーコネクタに差し込み、フックで確実にロックしてください。（P.9 電源パネル部と通信パネル部参照）

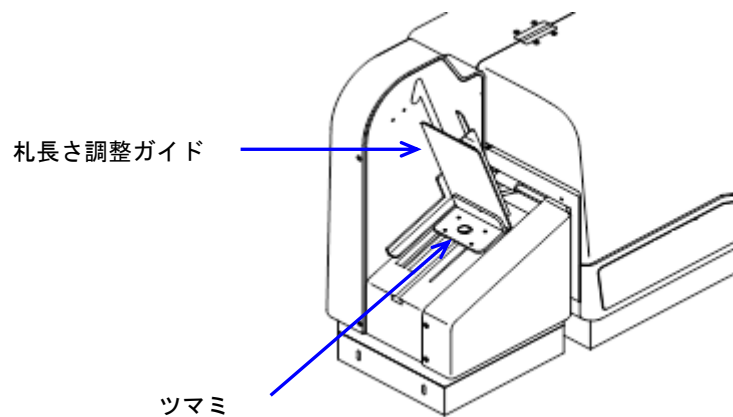
お願い

□スタッカーと本機の接続コネクタを抜き差しする場合は、必ず本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

スタッカー機の使用法

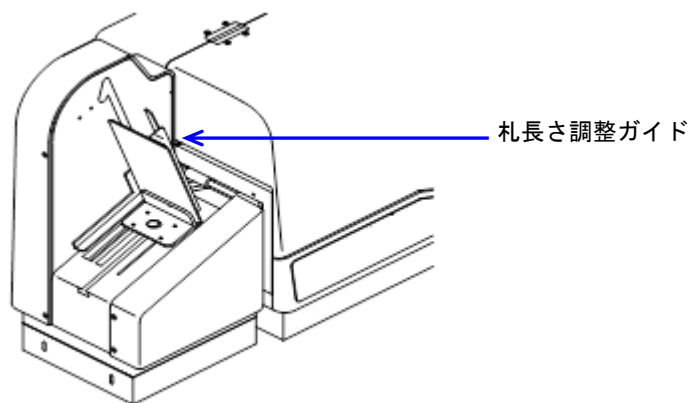
1

ツマミを緩め、札長さ調整ガイドを使用する札長さに合わせて固定してください。



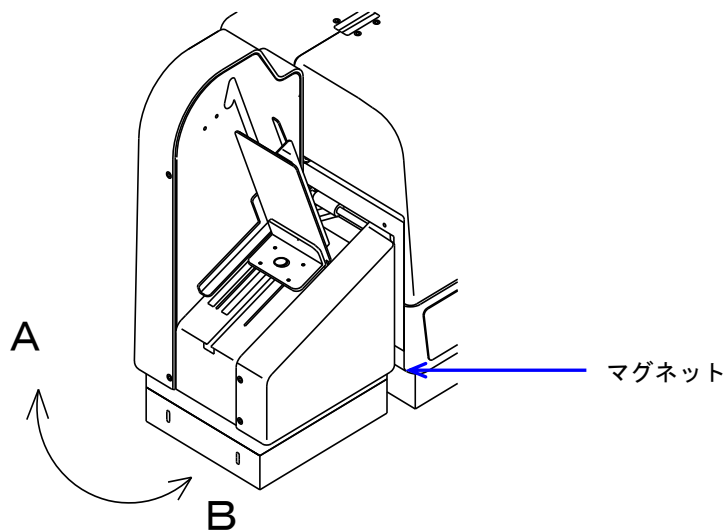
2

札幅ガイドを、使用する札幅に合わせて固定してください。(マグネット式)



3

ラベル印字時は、スタッカーをA方向に、タグ印字時はB方向にセットしてください。B方向にセットするときは、必ずマグネットが本体に付くようにしてください。



印字ヘッドの掃除について

印字ヘッドは定期的に掃除する必要があります。目安としてリボン3巻使用毎に掃除を行ってください。

印字ヘッドの掃除手順

1

本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

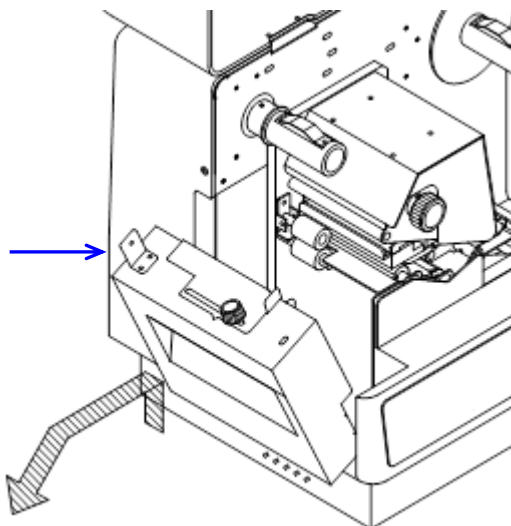
2

スタッカーを奥側へ回転させてください。

3

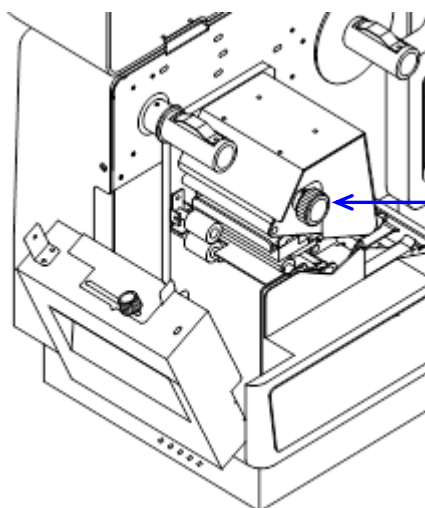
カッター固定ノブをゆるめ、カッター機を一旦持ち上げてから前方に引き出し前に倒してください。

カッター固定ノブ



4

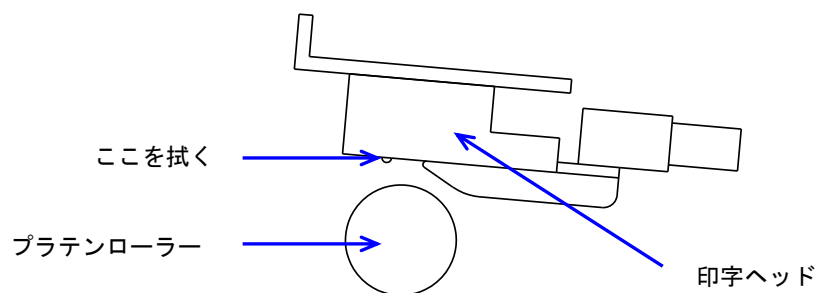
ヘッド手動ノブを回し、印字ヘッドとプラテンローラーの隙間をとってください。



ヘッド手動ノブ

5

下図の箇所を無水エタノールに浸した綿棒で軽く拭いてください。
(強く拭くと故障の原因になります。)



6

本機の電源を”ON”にして印字確認を行ってください。

お願い

□必ず本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

□金属などの固いものは印字ヘッドを破壊しますので、絶対に使用しないでください。

□掃除は、無水エタノール以外の薬品（シンナー等）は使用しないでください。

□印字ヘッドおよび用紙ガイドにラベルが貼り付いた場合は、必ず本機の電源”OFF”にして電源コードをコンセントから抜いてから取り除いてください。

故障について

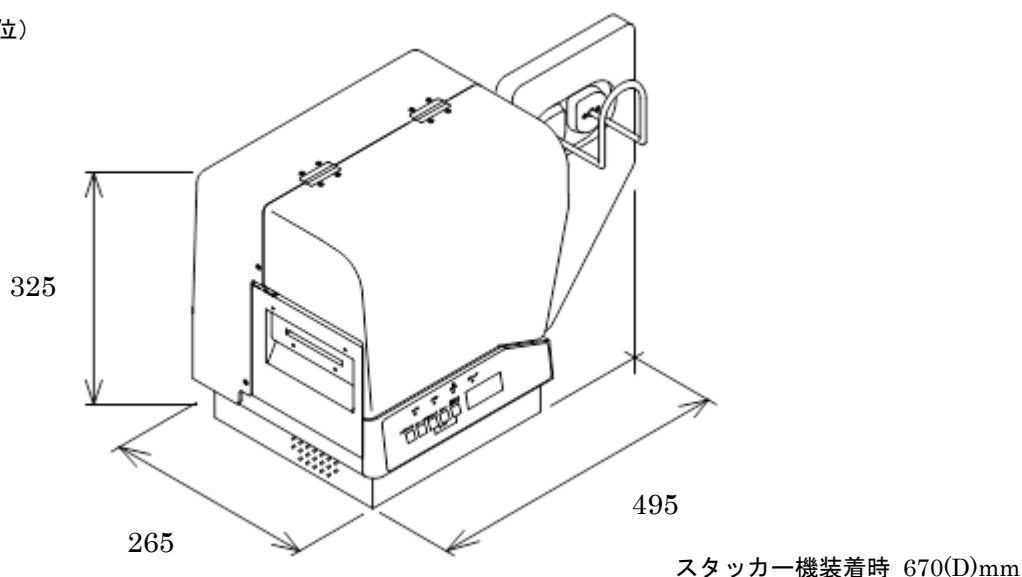
下記の処置をしても回復しないときは、必ず本機の電源を”OFF”にして電源ケーブルをコンセントから抜いて連絡先へお問合せください。

症 状	確 認 事 項
電源を“ON”にしても装置が動作しない 操作パネルに表示がされない	☐ 電源の差込プラグ（3P）がコンセントから外れていないか確認してください。 ☐ コンセント電源が有効か確認してください。 ☐ ヒューズが切れていないか確認してください。
用紙に印字されない	☐ エラー表示内容を確認してください。 ☐ リボンが逆にセットされていないか確認してください。 P.11 リボンセットの方法参照
印字がかすれる	☐ 印字ヘッドが汚れていませんか。 無水エタノールと綿棒で印字ヘッドを掃除してください。 （P.21 印字ヘッドの掃除について参照） 印字ヘッドを掃除しても回復しないときは、連絡先へお問い合わせください。
印字に白いスジが入る	☐ 印字ヘッドが汚れていませんか。 無水エタノールと綿棒で印字ヘッドを掃除してください。 （P.21 印字ヘッドの掃除について参照） 印字ヘッドを掃除しても回復しないときは、連絡先へお問い合わせください。

基本仕様

モデル名	SA-200CIV
印字方式	熱転写方式
印字解像度	8dot/mm (200dpi)
印字速度	MAX 200mm/秒
用紙サイズ	幅 32mm~70mm 長さ (ラベル) 15mm~120mm (タグ) 25mm~120mm
サーマルリボン	当社指定リボン 幅 40mm~70mm 長さ 400m内巻
自己検出機能	印字ヘッド切れ検出, 用紙エンド検出, 用紙詰り検出, リボンエンド検出、スタッカーフル検出、通信エラー、フォーマットエラー検出
通信ポート	RS-232C準拠シリアル型・USB(仮想COM)
環境条件	使用環境 10~30℃/40~70%RH (結露なきこと) 保存環境 0~40℃/30~90%RH (結露なきこと)
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	約300VA
外形寸法	下図参照
重量	約13kg

外形寸法 (mm 単位)



□本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。